

主体的な学びの姿

「子どもが主語」自ら問い、調べ、考え、判断し、表現する。

子どもが「自ら知識・技能を獲得」

子どもたちが知識・技能を学ぶ必然性を生み出して、子どもたちが知識・技能を学ぶように導く。

○「おかしいよ！」 これまでの経験をくつがえす事実との出会いから

○「ひどい！」 怒りなどの心情に訴える事実との出会いから

○「えっ、そんなに？」 数量に対する驚きを呼び起こす事実との出会いから

○「私はこっちの立場なんだけど…」 価値の対立を引き起こす事実との出会いから

「自分の言葉」で語る

自分自身とこれまでの経験（ひと・もの・こと等自分を取り巻く世界）がどのように結びついているかを語っている言葉。

1時間目

「学習問題」

にせまる！



「学習問題」にせまる！

学習課題

課題…問題を解決するために設定された事柄。
課題に取り組むことにより、一定の体系的知識・技術や概念等が獲得される。教師の側であらかじめ解決への道筋が想定されている場合が多い。

学習問題

子ども自信がある事象に対して主体的に問題と感じ、その解決を何とか図ろうとする意思や関心を示す事柄。
問題意識の深まりと共に、解決への熱意や切実な思いも増していく状態となる。解決に至らない場合もある。

「学習問題」にせまる！

学習課題

「学習問題」「学習計画」の玄関口
単元導入時、学習問題につながる誘い
この積み重ねが、学習意欲を鍛える！
事実・事象との出会い



学習問題

主体的な追究活動

ここへの到達度が「本気」度の総体！
対話的で深い学びが展開される



「学習問題」にせまる！

本気の学習問題

子どもが本気で追究せずにはいられないような学習問題。一人ひとりの考えをもとに、個々の事象に見られる社会的事象の意味に迫る問題。

追究する過程で子どもに知識・理解・技術等が獲得される。

諸能力および態度や生き方を含めた人間形成そのものの促進が図られること自体の価値が重んじられる。

「わからないことからわからないことへ」上田薫先生

学習の深化

「学習問題」にせまる！

学習問題を紹介！

3年「どうしてよく買う牛乳が店の奥に置いてあるのかな」

3年「どうして歩く人が多い所と少ない所があるのだろうか」

4年「最終処分場では、どのようなことに気を付けて

うめ立てているのだろうか」

4年「なぜ、灰を海にすてるのだろうか」

5年「5～7月のスイカ作りは作らないほうがいいのだろうか」

5年「Kさんは今、柴漁港で何ができるのだろうか」

6年「ケアプラザのようなデイサービスを行う施設をつくる

ことを優先すべきなのかな」

6年「聖武天皇はどのような思いから大仏をつくったのか

庶民は協力出来てうれしかったのか」

「学習問題」にせまる！

学習問題...気になること

1 子どもの言葉になっているか

発言、つぶやき、ノートなど→単元計画と同じ言葉？

2 そこに主語(または対象や時間軸)はありますか？

子どもの思考の足場が定まっているか？

3 多角的な視野を教師が意識しているか

4 次時も同じ学習問題って？

1時間の学びで思考は深まる。問題もよりシャープに！

5 教師の主観がチラチラ

教師主導になりがち。「こんなに多くの」「～なのに」

6 2項(○項)対立 if 自分だったら について

2時間目

単元構想



～子どもの姿と指導要領～

単元構想は「個の見取り」と「学習材の吟味」両輪！

個の見取り



学習材の吟味

- 学校生活の様子
- 願うその子の姿
- 日頃の学びの姿
- ノート記述
- 何だか気になる
- 保護者との連携
- 引継ぎの中で
- 輝く個性



学びの姿
を想像し
よう！

- 「この子の単元・授業」
- 前単元（前時）の見取り
 - 本単元（本時）に願う姿
 - その姿を支える手立て

- 個の見取りにあった学習材か
- 個が輝くチャンス！
- 教師自身が魅力を感じているか。
- 単元目標や本時目標に到達できるか。
- 獲得できる学力は。

単元構想～やはり子どもの姿を大事に～

単元構想ラフスケッチ

「日本の水産業は『今』」 5年(水産系)
 @ シヤコの海岸物語 大滝 文平 氏

3回目(2回目リニューアル版) 3/28

2回目 → K人の現状について、どこまで進めたのか? の反省 体験的な学習が 目的の捉え方を再考す

・横濱(神奈川県)の名産品を学んでいる
 ・横濱に漁場がある。(体相) (金沢) (柴)
 ・親も知らない。豊内(てし)知(り)の(類)
 ・でもHに魚の漁獲量が一気に...
 HPAの...
 << 調べ学習が得る学習の価値 >>

「子ども」
 ・「これは商品にはならない...」
 ・「禁漁の日はたは...」
 << 体験的な学習の価値 >>

「教師」
 ・「Kは今どうしてる?」
 ・「Kは反論してる」
 ・「Kは後退してきてる」
 ・「Kはたまたましてる」
 ・「Kは何かを思ってる」
 ・「禁漁の日はないの?」
 << 子どもの実態を把握する価値 >>

「知識 偏重の傾向」
 ・地元化。おもしろいね。
 ・Hで今よりも情報
 ・5年生の初め、時期
 ・字を写す吸収が速いから
 ・ここを強調する。
 ・漁場の維持。
 << 子どもの実態を把握する価値 >>

「重要になる学習の主題」
 ・「え、横濱に漁場?」
 ・「どうやって獲るの?」
 ・「なぜこの場所? 日-123の?」
 ・「どうして禁漁?」
 ・「禁漁日ってなぜあるの?」
 << 子どもの実態を把握する価値 >>

「今はほとんど復習の... 環境面(科学的理由)」
 ・地元横濱のこと
 ・知っててない(存在が!!)
 ・横濱から復習して他地域がある
 ・「お魚の漁」
 ・「お魚」
 ・「お魚」
 << 教師の視点から得る学習の価値 >>

「社会科として学んで欲しい価値」
 ・小艇船底の網漁
 ・日本は漁業盛んな国にある
 ・→ 激しい現状
 ・小艇の存在点、なぜ江戸前品質NO.1
 ・→ 新指「運輸」の良さを取ってくる
 ・大津の工場... 加工場、網下敷
 ・... 回復 禁漁 2回1倍
 ... だからこの単元を実践するのだ!! lol...
 03回目を実践するに当たって課題と改善案。
 (知識)
 ・漁の種類 (産地別のほか、他の漁法(?)へ)
 ・漁法 (漁具や船の豊富な漁場など)
 ・運輸面
 (体相) ~ 気配や小艇の扱いか。
 (禁漁) 解禁
 ... lol 回復の快いのか

- ・ 多角的に考える (事象・当事者・大衆)
- ・ ページ1枚で
- ・ 映画監督になれ!

- 「この子の単元」
- ・ 本単元までの見取り
 - ・ 本単元で願う姿
 - ・ その姿を支える手立て

単元構想～柔軟性を大事に～

○単元構想と実際の流れは違っていい
学習問題の連続性が単元をつくる

○子どもが学びをつくるのだもの
予定通りになんか行くわけがない 単元も本時も

○そこに学びはあるんか 指導要領読んだんか
「子どもの思いで進めたら学ぶべきことが無かった」からの回避
評価規準をつくれれば大丈夫。指導要領を読み込むことに
つながりますよ（次ページ参照）。

柔軟な単元構想が「授業改善」につながる。
そして、子どもへの「学習改善」へ。

小学校社会科における評価規準設定について

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①Eなどについて、Cなどで調べて、必要な情報を集め、読み取り、Fを理解している。</p> <p>②調べたことをDや文などにまとめ、Bを理解している。</p>	<p>①Eなどに着目して、問いを見いだし、Fについて考え表現している。</p> <p>②比較・関連付け、総合などしてGを考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。</p>	<p>①A（に関する事項）について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとしている。 ※多角的に発展を考えようとする ※選択・判断しようとする</p>

評価したことを指導に生かす

評価したことを記録に残す

中休み 取材へ行こう（教師編）

- できれば二人以上でいきたい。
例年お世話になっている方。
新規開拓の方。
多面的に事実を見る。
カメラマンお願い！（授業者はインタビュアー）
- 時間との戦い
行く場所，会う人，を決めておく。視点の明確化。
ピンポイントな取材。学習問題を想定した質問。
- 「取材」という概念をそぎ落としていく。
○○さんに会いに行く。
この人，この場所，この物事が「好きだ！」



中休み 取材へ行こう（子ども編）

①学習問題が見えてくる取材。

子どもの視点から見ること、体験することで学習問題が
つくりあげられる。導入での取材（見学）
→教師が視点を持っていることが大前提！

②問題解決的な取材

見る（聴く）こと、体験することで仮説の検証。
目的意識が明確な見学。主体的な取り組みになる。
→子どもが何を取材したのかを見取る。

